五代の子



五代小　学校だより
令和８年３月１３日
宇都宮市立五代小学校
校長　林田　浩二

合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」

「ありがとう」は「有り難う」

三寒四温の言葉通り、気温の変化は激しいですが、着実に春に向かっていることを感じる季節となりました。

3/6(金)には、５年生の総合的な学習の時間で「ヒラメから学ぶいのちの授業」を行いました。3/19(木)には、卒業式が予定されています。

１年の締めくくりの時期に入り、様々な場面で「ありがとう」の感謝を伝える場面があります。保護者、先生、地域の方々、ヒラメの命など…五代小学校の教育に関わる全ての方々に「感謝」しなければいけません。

小学生に限らず、人は誰かに支えられて生きています。たとえ家の中で一人で生活している人であってもです。

生産や販売などの「生活の支え」、食事や洗濯などの「家族の支え」、遊びや趣味、相談などの「友達の支え」、くらしの安全・安心を守る「地域の支え」など、食料を調達するだけでも多くの人が関わってその商品が並んでいるのです。

「ありがとう」は漢字で「有り難う」と書きます。

そこに**「有る」**ということは、とても**「難しい」**ことなのです。「当たり前」ではないということです。
「食事ができること」「寝る場所があること」「学校に行けること」「勉強できること」「友達と遊べること」…

そして「生きていること」「命があること」

当たり前のことに「感謝」して、「ありがとう」が言える五代の子になってほしいと願っています。

ヒラメから学ぶ「いのちの授業」

５年生が総合的な学習の時間を使ってヒラメを育てています。

稚魚から半年間かけて育てたヒラメを、最後には自分たちで食べるという養殖体験です。

ヒラメの命をいただくことで、生き物を育てる大変さを感じ、命をいただく感謝の気持ちをもつことで、自分が生きていること「自分の命」について考えを深める授業です。



<手を合わせて見守る子供たち>

3/6(金)に実際にヒラメを食べる「実食」の授業がありました。自分たちが育てたヒラメを食べるのには躊躇があったと思いますが、心を込めた「いただきます」を言うことができました。

- 下野新聞　3/8(日)各地総合版に掲載
- とちぎテレビ　3/6(金)イブ６プラス、とちてれNES９で放送
  下記URLか、右QRコードから「とちテレNEWS」の映像がご覧いただけます→
  https://www.youtube.com/watch?v=joU50y9UxDQ

令和７年度もあとわずかで終わろうとしています。
五代小の合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい　五代の子」に向けて保護者の皆様、地域の皆様には、学校教育へのご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。
これからも、学校・家庭・地域が「つながり」と「重なり」をもち、よりよい五代小をつくっていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

宇都宮市立五代小学校長　林田　浩二



五代小ホームページ